

催し物案内2023年度春・夏号

2023年4月～2023年9月

# 多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協議会では、公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<https://tamahaku.jp>) やツイッターを通じ、さまざまな情報を公開しています。

「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。

多摩地域の博物館をめぐるってみませんか！



[HP]

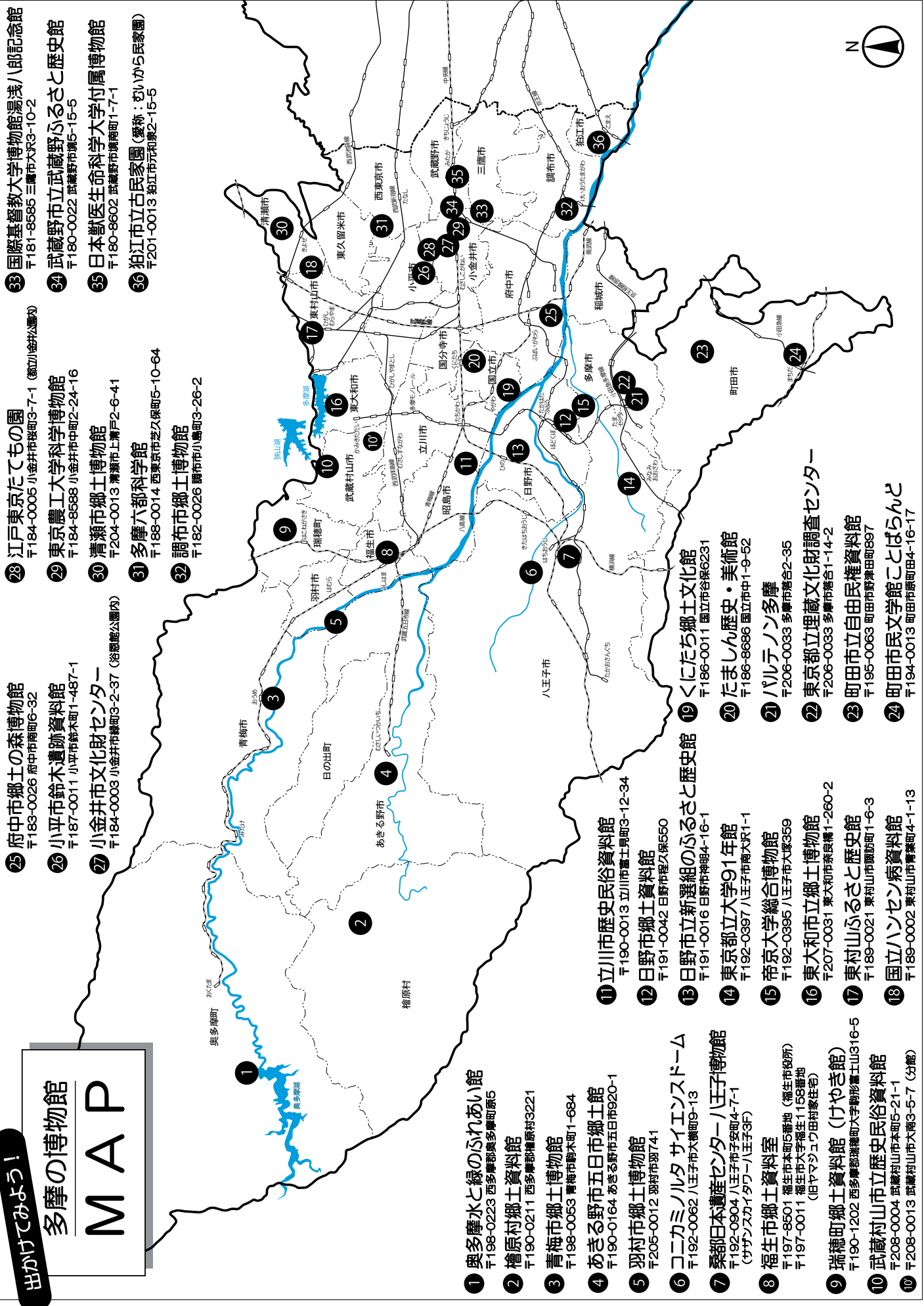


[Twitter]

※感染対策をはじめ、催し物の中止や延期など急な変更を行う場合があります。事前にご利用予定の施設にお問い合わせください。

出かけてみよう!

# 多摩の博物館 MAP



- 28 江戸東京たてももの園  
〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 (都立小金井公園内)
- 29 東京農工大学科学博物館  
〒184-8588 小金井市中央町2-24-16
- 30 清瀬市郷土博物館  
〒204-0013 清瀬市上瀬戸2-6-41
- 31 多摩六都科学館  
〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64
- 32 調布市郷土博物館  
〒182-0026 調布市小島町3-26-2
- 33 国際基督教大学博物館湯浅/八郎記念館  
〒181-8585 三鷹市大宮3-10-2
- 34 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館  
〒180-0022 武蔵野市旗5-15-5
- 35 日本獣医生命科学大学付属博物館  
〒180-8602 武蔵野市旗南町1-7-1
- 36 狛江市立古民家園 (愛称:むいかみ民家園)  
〒201-0013 狛江市元和東2-15-5

- 25 府中市郷土の森博物館  
〒183-0026 府中市南町6-32
- 26 小平市鈴木遺跡資料館  
〒187-0011 小平市新木町1-487-1
- 27 小金井市文化財センター  
〒184-0003 小金井市線町3-2-37 (裕福館公園内)
- 28 江戸東京たてももの園  
〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 (都立小金井公園内)
- 29 東京農工大学科学博物館  
〒184-8588 小金井市中央町2-24-16
- 30 清瀬市郷土博物館  
〒204-0013 清瀬市上瀬戸2-6-41
- 31 多摩六都科学館  
〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64
- 32 調布市郷土博物館  
〒182-0026 調布市小島町3-26-2

- 25 府中市郷土の森博物館  
〒183-0026 府中市南町6-32
- 26 小平市鈴木遺跡資料館  
〒187-0011 小平市新木町1-487-1
- 27 小金井市文化財センター  
〒184-0003 小金井市線町3-2-37 (裕福館公園内)

- 1 奥多摩水と緑のふれあい館  
〒198-0223 西多摩郡奥多摩町原5
- 2 檜原村郷土資料館  
〒190-0211 西多摩郡檜原村3221
- 3 青梅市郷土博物館  
〒198-0063 青梅市駒木町1-684
- 4 あさる野市五日市郷土館  
〒190-0164 あさる野市五日市920-1
- 5 羽村市郷土博物館  
〒205-0012 羽村市現741
- 6 コニカミノリタ サイエンスドーム  
〒192-0062 八王子市大機町9-13
- 7 桑原日本遺産センター/八王子博物館  
〒192-0904 八王子市安町4-7-1  
(ササノカスイタワー/八王子3F)
- 8 福生市郷土資料室  
〒197-8501 福生市本町5番地 (福生市役所)  
〒197-0011 福生市大字福生1158番地  
(旧ヤマシユウワ村家住宅)
- 9 瑞穂町郷土資料館 (げやき館)  
〒190-1202 西多摩郡瑞穂町大字駒形富士11316-5
- 10 武蔵村山市立歴史民俗資料館  
〒208-0004 武蔵村山市本町15-21-1  
〒208-0013 武蔵村山市大南3-5-7 (分館)

- 11 立川市歴史民俗資料館  
〒190-0013 立川市富士見町3-12-34
- 12 日野市郷土資料館  
〒191-0042 日野市程久保550
- 13 日野市立新選組のふるさと歴史館  
〒191-0016 日野市神町4-16-1
- 14 東京都立大学91年館  
〒192-0397 八王子市南大沢1-1
- 15 帝京大学総合博物館  
〒192-0395 八王子市大塚359
- 16 東大和市立郷土博物館  
〒207-0031 東大和市赤長橋1-260-2
- 17 東村山ふるさと歴史館  
〒189-0021 東村山市諏訪町1-6-3
- 18 国立ハンセン病資料館  
〒189-0002 東村山市青葉町4-1-13

- 11 立川市歴史民俗資料館  
〒190-0013 立川市富士見町3-12-34
- 12 日野市郷土資料館  
〒191-0042 日野市程久保550
- 13 日野市立新選組のふるさと歴史館  
〒191-0016 日野市神町4-16-1
- 14 東京都立大学91年館  
〒192-0397 八王子市南大沢1-1
- 15 帝京大学総合博物館  
〒192-0395 八王子市大塚359
- 16 東大和市立郷土博物館  
〒207-0031 東大和市赤長橋1-260-2
- 17 東村山ふるさと歴史館  
〒189-0021 東村山市諏訪町1-6-3
- 18 国立ハンセン病資料館  
〒189-0002 東村山市青葉町4-1-13

- 19 くにたち郷土文化館  
〒186-0011 国立市谷保6231
- 20 たましん歴史・美術館  
〒186-8686 国立市1-9-52
- 21 パルテノン多摩  
〒206-0033 多摩市港台2-35
- 22 東京都立埋蔵文化財調査センター  
〒206-0033 多摩市港台1-14-2
- 23 町田市立自由民権資料館  
〒195-0063 町田市野津田897
- 24 町田市民文学館ことばらんど  
〒194-0013 町田市原町4-16-17

- 19 くにたち郷土文化館  
〒186-0011 国立市谷保6231
- 20 たましん歴史・美術館  
〒186-8686 国立市1-9-52
- 21 パルテノン多摩  
〒206-0033 多摩市港台2-35
- 22 東京都立埋蔵文化財調査センター  
〒206-0033 多摩市港台1-14-2
- 23 町田市立自由民権資料館  
〒195-0063 町田市野津田897
- 24 町田市民文学館ことばらんど  
〒194-0013 町田市原町4-16-17

- 25 府中市郷土の森博物館  
〒183-0026 府中市南町6-32
- 26 小平市鈴木遺跡資料館  
〒187-0011 小平市新木町1-487-1
- 27 小金井市文化財センター  
〒184-0003 小金井市線町3-2-37 (裕福館公園内)
- 28 江戸東京たてももの園  
〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 (都立小金井公園内)
- 29 東京農工大学科学博物館  
〒184-8588 小金井市中央町2-24-16
- 30 清瀬市郷土博物館  
〒204-0013 清瀬市上瀬戸2-6-41
- 31 多摩六都科学館  
〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64
- 32 調布市郷土博物館  
〒182-0026 調布市小島町3-26-2

- 25 府中市郷土の森博物館  
〒183-0026 府中市南町6-32
- 26 小平市鈴木遺跡資料館  
〒187-0011 小平市新木町1-487-1
- 27 小金井市文化財センター  
〒184-0003 小金井市線町3-2-37 (裕福館公園内)
- 28 江戸東京たてももの園  
〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 (都立小金井公園内)
- 29 東京農工大学科学博物館  
〒184-8588 小金井市中央町2-24-16
- 30 清瀬市郷土博物館  
〒204-0013 清瀬市上瀬戸2-6-41
- 31 多摩六都科学館  
〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64
- 32 調布市郷土博物館  
〒182-0026 調布市小島町3-26-2

- 33 国際基督教大学博物館湯浅/八郎記念館  
〒181-8585 三鷹市大宮3-10-2
- 34 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館  
〒180-0022 武蔵野市旗5-15-5
- 35 日本獣医生命科学大学付属博物館  
〒180-8602 武蔵野市旗南町1-7-1
- 36 狛江市立古民家園 (愛称:むいかみ民家園)  
〒201-0013 狛江市元和東2-15-5

この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

<b>1</b>	<b>奥多摩水と緑のふれあい館</b> 水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。						
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日（祝日の場合は翌日）、 12.28～1.4	入館料	無料	☎	0428-86-2731
<p>奥多摩の自然とダムとの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業などの展示や映像などで分かりやすく紹介している。</p> <p>※新型コロナウイルスの蔓延防止のため入館される方はマスクの着用並びに入り口で手指の消毒が必須となります。（消毒剤はアルコールを使用しております。）発熱等風邪のような症状のある方の入館はお断りしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和5年 4月 中旬 春の奥多摩ミニコンサート</li> <li>●令和5年 6月 1日（木）～ 7日（水） 水道週間</li> <li>●令和5年 8月 1日（火）～ 31日（木） 夏休みイベント・ダム写真展</li> <li>●令和5年 9月10日（日） 水源郷土芸能フェスティバル</li> <li>●令和5年 9月 下旬 奥多摩吹奏楽団演奏会</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.okutama.gr.jp/">http://www.okutama.gr.jp/</a></p>							

<b>2</b>	<b>檜原村郷土資料館</b> 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。						
開館時間	4月～11月 9:30～17:00 12月～3月 10:00～16:00	休館日	火曜日（祝日の場合は翌日）、 年末年始	入館料	無料	☎	042-598-0880
<p>●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」 鑑賞室では「檜原村歳時記」・「重要文化財小林家住宅修復記録映像」・「檜原村の郷土芸能」がご覧いただけます。</p> <p>※臨時休館となる場合がありますので、最新の情報及びご来館の際は檜原村郷土資料館にお電話にてご確認ください。</p> <p>【URL】 <a href="http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html">http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html</a></p>							

<b>3</b>	<b>青梅市郷土博物館</b> 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、 12.29～1.3	入館料	無料	☎	0428-23-6859
<p>●企画展「青梅の自然災害と疫病」（4.22～7.30） 近世以降の地震や噴火などの自然災害をはじめ、疱瘡やコレラなどの疫病について、当時の人々が残した日記や関連資料などを展示し、青梅の先人たちが自然災害や疫病に対し、どのように向き合ってきたのかを紹介します。</p> <p>●新収蔵品展2023（8.19～11.26） 令和4年度に寄贈を受けた新収蔵品を中心に紹介します。</p> <p>※最新の情報は、青梅市郷土博物館ホームページまたはお電話にてご確認ください。</p> <p>【URL】 <a href="https://www.city.ome.tokyo.jp/site/provincial-history-museum/">https://www.city.ome.tokyo.jp/site/provincial-history-museum/</a></p>							

<b>4</b>	<b>あきる野市五日市郷土館</b> 五日市の歴史・民俗・自然について紹介。五日市憲法草案関係の資料を展示。						
開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、 年末年始（12.27～1.4）	入館料	無料	☎	042-596-4069
<p>●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。</p> <p>●ミニ企画展「郷土の古文書その36」</p> <p>●年中行事（旧市倉家住宅） 五月人形（4月～5月）、七夕飾り（7月）、蚊帳展示（8月）、十五夜（9月）</p> <p>【URL】 <a href="http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html">http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html</a></p>							

<b>5</b>	<b>羽村市郷土博物館</b> 羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。						
開館時間	9:00～17:00（旧下田家住宅は9:00～16:00）	休館日	月曜日（祝日の場合は開館） 12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-558-2561
<p>●常設展 羽村の自然・風土・歴史・文化に関して、「多摩川とともに」「玉川上水をまもる」「農村から都市へ」「中里介山の世界」の4つのテーマで紹介しています。</p> <p>●企画展「こいのぼりと五月人形展」（4.15～5.14） 端午の節供をテーマに、甲冑かざりや兜かざりなどを展示します。旧下田家住宅には、こいのぼりを掲揚します（4月下旬～5月中旬）。</p> <p>●季節かざり「七夕かざり」（6.17～7.9） 郷土博物館と旧下田家住宅に七夕かざりを展示します。来館者のみなさまにも短冊を書いて吊るして頂きます。</p> <p>●体験学習会「まゆから糸をひこう！」（8.12） 昔ながらの繰糸具を使い、まゆから糸を引く体験をします。</p> <p>●季節かざり「お月見かざり」（9.23～10.1） 中秋の名月に合わせてお月見かざりを展示し、お月見に関する習俗を紹介します。</p> <p>【URL】 <a href="http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html">http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</a></p>							

6	<b>コニカミノルタ サイエンスドーム（八王子市こども科学館）</b>					
	プラネタリウムと基礎物理や宇宙を中心とした参加体験型の展示。					
開館時間	10:00～17:00（ただし火～金曜9:00～12:00は事前予約団体専用）	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始など（春・夏・冬休み期間は無し）	入館料	大人200円、4歳～中学生100円（プラネタリウム料金別、セット割引有り）	☎ 042-624-3311
<p>●プラネタリウムでは「クレヨンしんちゃん～宇宙からの来訪者」「プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる!」「キトラ古墳壁画～天文図と中国星座の世界」「アンパンマン～ちびおおかみと月のふしぎ」を投影。</p> <p>「生解説プラネタリウム 星空散歩」季節の星座や天文現象を解説。（第二日曜）</p> <p>「全編生解説プラネタリウム」4～6月のテーマは「小惑星」。7月から新テーマ（第四日曜）</p> <p>「トワイライトプラネタリウム」月1回土曜日の夕方に投影「キトラ古墳壁画」4.15、5.20、6.17 午後6時。（7月から新番組）</p> <p>「八王子の地質・岩石講座と野外観察」5.14（日）</p> <p>「浅川化石観察会」5.21（日）</p> <p>「星空観望会」5.27（土）午後7時「月、金星」</p> <p>「星空コンサート」6.3（土）「曲目未定」（予約制（HPから申込）</p> <p>●土日祝、春休み、夏休みには親子で楽しめる工作教室などを開催。（当日先着順または予約制（HPから申込）</p> <p>【URL】 <a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html</a></p>						

7	<b>桑都日本遺産センター 八王子博物館</b>					
	日本遺産の魅力をはじめとした八王子の歴史と文化を紹介。車人形や織物の体験も。					
開館時間	10:00～19:00	休館日	年末年始、その他館内整理日	入館料	無料	☎ 042-622-8939
<p>桑都日本遺産センター 八王子博物館（愛称・はちはく）は、都内で唯一の「日本遺産」に認定されたストーリー、「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」を紹介しています。桑都と呼ばれる八王子の魅力にあふれる、市内各地の文化財へあなたを誘います。</p> <p>●企画展「昭和のこどもたち～人形展～」(4.1～4.10) 人形作家石井美千子氏の作品を展示します。</p> <p>●企画展「家康と八王子」(4.15～5.28) 徳川家康やその家臣と八王子の様々なゆかりについて、写真や資料で紹介します。</p> <p>●企画展「京王線開業110周年記念 京王線と八王子(仮)」(6.3～7.17) 戦前から現在に至る京王線と八王子のあゆみを館蔵資料を中心に紹介します。</p> <p>●企画展「八王子と苦小牧 ～千人同心がつないだ絆～」(7.22～10.1) 苦小牧市との姉妹都市締結50周年を記念して、八王子千人同心の蝦夷地移住と開拓の歴史を紹介します。</p> <p>●企画展「戦時下の生活(仮)」(7.22～10.1) 戦時下の市民生活について、館蔵資料で展示します。</p> <p>●紙芝居の上演会 ガイドボランティアが制作した紙芝居を上演します。「日光と千人同心」(4.30)、「松姫ものがたり」(5.28)、「八王子城主北条氏照」(6.25)、「八王子空襲」(7.30と8.27)、「大久保長安」(9.24)</p> <p>【URL】 <a href="https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/hachihaku.html">https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/hachihaku.html</a></p>						

8	<b>福生市郷土資料室</b>					
	福生を中心とした多摩の歴史・民俗・自然を紹介しています。					
開館時間	※令和6年1月から再開館の予定	休館日	空調設備等改修工事のため休館中	入館料	無料	☎ 042-530-1120
<p>福生市郷土資料室は、空調設備等改修工事のため、休館しています。再開館は令和6年1月の予定です。休館中は、福生市役所や旧ヤマジウ田村家住宅等で出張展示を行います。</p> <p>●市役所出張展示</p> <p>「福生想い写真館～福生に生きる人々編～」(4.17～7.1) 福生市郷土資料室で所蔵する、明治から昭和60年代にかけて、福生に生きる人々の姿を写した写真の展示を行います。</p> <p>「窪田成司記憶画展」(仮)(7.3～9.9) 昭和初期の福生の様子を描いた窪田成司氏による記憶画の展示を行います。</p> <p>「福生の学校展」(仮)(9.11～11.25) 福生市立福生第一小学校が開校150周年を迎えるにあたり、福生市内の学校の歴史を振り返る展示を行います。</p> <p>●旧ヤマジウ田村家住宅主屋季節展示</p> <p>「戦時下の生活と涼をとる道具展」(6.24～9.14) 戦争資料展に合わせ、戦時下の生活が分かる道具と、夏の暮らしを伝える道具の展示を行います。</p> <p>●旧ヤマジウ田村家住宅ギャラリー展示</p> <p>「旧ヤマジウ田村家住宅所蔵資料展」(仮)(6.3～7.13) 令和4年度に、旧ヤマジウ田村家住宅所蔵資料が市登録有形文化財となったことを記念し、所蔵資料を紹介する展示を行います。</p> <p>「平和のための戦争資料展」(7.15～9.10) 終戦の日に合わせて、戦争資料を通して平和の大切さを再認識することを目的とした企画展示を行います。</p> <p>※旧ヤマジウ田村家住宅ギャラリーでは、上記期間を除き、窪田成司氏による記憶画の展示を季節ごとに入れ替えながら行っています。</p> <p>【URL】 <a href="https://www.museum.fussa.tokyo.jp">https://www.museum.fussa.tokyo.jp</a></p>						

9	<b>瑞穂町郷土資料館（けやき館）</b>					
	瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料（企画展は有料になることがあります）	☎ 042-568-0634
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「進藤農業資料館コレクション「四季耕作図の世界」」（4.8～6.18） 進藤農業資料館が収蔵する貴重なコレクションの中から、画題として日本や中国の農村風景が描かれている「四季耕作図」を取り上げて紹介します。</li> <li>●パネル展「植物学者牧野富太郎と万葉集の花々」（4.8～5.28） 毎年好評を頂いている「万葉集と山野草」、今年はテレビドラマで話題の牧野富太郎氏とコラボレーションします。</li> <li>●企画展「（仮）相馬博絵画展」（6.3～7.2） 抽象画家として空の光をモチーフにした作品を発表している、現代美術家の相馬博氏による絵画展です。代表的な“circle”シリーズや“circle of life”シリーズなど、繊細で、職人的なこだわりを感じさせる作品を展示します。</li> <li>●企画展「（仮）昆虫の不思議～そのナゾと生態～」(7.15～9.24) 身近に生息している昆虫を紹介する企画展です。今年は、「完全変態」する昆虫を中心に、コウチュウの仲間やハチの仲間スポットを当てるとともに、寄生・擬態・分解など、昆虫のナゾと生態に迫ります。</li> <li>●企画展関連展示「（仮）伊藤知紗原画展」（7.15～9.24） 昆虫を題材にした作品を多数発表する絵本作家、伊藤知紗氏による絵本の原画を展示します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】 <a href="https://mizuhokyodo.jp">https://mizuhokyodo.jp</a></p>						

10	<b>武蔵村山市立歴史民俗資料館</b> 武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。					
	<b>分館</b> 武蔵村山の戦争資料をもとに、戦時中の市域の人々の生活の様子などの一端を紹介。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	本館：第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3 分館：月・火曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料	☎ 本館 042-560-6620 分館 042-566-3977
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展：丘陵と台地が育む生命のあゆみ～人と自然との共生～</li> <li>●年中行事展「端午の節供」（4.15～5.14）</li> <li>●自然観察会「狭山丘陵－谷戸の自然－（仮）」(5.20)</li> <li>●年中行事展「七夕飾り」（6.24～7.7）</li> <li>●夏休み子ども展示「武蔵村山と戦争（仮）」(7.15～9.3)</li> <li>●夏休み親子体験教室「草木染め（仮）」(7.29)</li> </ul> <p>分館：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展：戦時中（アジア・太平洋戦争）の武蔵村山</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】 <a href="http://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/index.html">http://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/index.html</a></p>						

11	<b>立川市歴史民俗資料館</b>					
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺き屋根の川越道緑地古民家園もあります。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（月曜祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-525-0860
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示 原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介しています。</li> <li>●ミニ企画展「端午の節句」（4.4～5.7） 市民のみみなさまから寄贈された五月人形を、立川市歴史民俗資料館と川越道緑地古民家園で展示します。</li> <li>●企画展「新収蔵品展」（6.13～7.9） 令和4年度に新たに寄贈された資料の一部を公開します。</li> <li>●ミニ企画展「七夕飾り」（7.1～7.7） 季節に合わせて七夕飾りを展示します。</li> <li>●企画展「立川の遺跡 2023」（7.25～9.3） 令和4年度に市内で出土した資料などを展示します。</li> <li>●写真展「立川駅前の移り変わり」（9.9～10.9） 博物館実習生による企画展です。立川駅前の変遷を写真で紹介いたします。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】 <a href="http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html">http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html</a></p>						

12	<b>日野市郷土資料館</b> 日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-592-0981
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「七生丘陵ハイキング～身近な自然を訪ねて」（4.1～7.9） 日野市南部の七生丘陵ハイキングコースで見られる地域の自然の魅力やハイキングコースの変遷について紹介します。</li> <li>●企画展「日野市の学校生活（仮）」(7.15～10.1)</li> <li>●翼聖歌パネル展（4.6～6.27）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】 <a href="https://www.city.hino.lg.jp/museum/">https://www.city.hino.lg.jp/museum/</a> 【Twitter】 @hino_museum</p>						

13	<b>日野市立新選組のふるさと歴史館</b>					
	土方歳三・井上源三郎の故郷日野で新選組、幕末維新、甲州道中などに関する展示を行っています。					
開館時間	9:30～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、12.29～1.3	入館料	大人200円、小・中学生50円	☎ 042-583-5100
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展 描かれた新選組区 - 日野市制60年 土方歳三と歴史劇の時代 (4.29～7.2) 令和5年は日野市の誕生と日野出身の土方歳三が人気を得るきっかけとなった小説『燃えよ剣』の誕生（昭和38年）から60年です。小説から誕生した「土方歳三」が広く受け入れられ、人気となり、定着していく過程と、それを受容した「世間」と「時代」について展示します。</li> <li>●企画展 新選組ってなんだろう2023（仮）(7.11～9.18)</li> <li>●企画展 百草・倉沢エコミュージアム - 考古隊、はじめの一步 - (7.11～9.18)</li> </ul> ※詳細は館HPでご確認ください。 【URL】 <a href="https://www.city.hino.lg.jp/shinsenr/">https://www.city.hino.lg.jp/shinsenr/</a> 【Twitter】 @shinsenr						

14	<b>東京都立大学 91 年館</b> 大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。					
	開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧ください。東京都立大学の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介します。 【URL】 <a href="https://kyomu.jim.tmu.ac.jp/kyousyoku.html">https://kyomu.jim.tmu.ac.jp/kyousyoku.html</a></li> </ul>						

15	<b>帝京大学総合博物館</b> 帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。					
	開館時間	9:00～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	日曜日、祝日、創立記念日、臨時休館日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「扉」の向こうに私の世界が… (3.18～7.1) 4名の学生が、「扉」というテーマで自らの感性と思索を頼りに選んだ、大学所蔵絵画を紹介しします。</li> <li>●TeikyoSat-4 - 宇宙の小さな実験室 - (3.25～7.8) TeikyoSat-4（超小型人工衛星おおり）実寸大模型から帝京大学の宇宙科学研究を紹介しします。</li> <li>●東京トロバス事始 (3.25～7.8) 本学図書館所蔵貴重資料公開 Vol.3として、1952～1968年に東京を走ったトロリーバス関係資料を紹介しします。 【URL】 <a href="http://teikyo.jp/museum/">http://teikyo.jp/museum/</a></li> </ul>						

16	<b>東大和市立郷土博物館</b> 東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムクリエイター大平貴之氏の投影機メガスターが評判。					
	開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 祝日の翌日	入館料	無料 （プラネタリウムは有料）
<ul style="list-style-type: none"> <li>●プラネタリウム春番組 (3.18～6.11) / プラネタリウム夏番組 (6.17～9.10) / プラネタリウム秋番組 (9.16～12.3)</li> <li>●企画展示「アナログとデジタル」(3.25～5.14)、「(仮)東大和の夏 自然とくらし」(7月～9月(予定))、「(仮)吉岡堅二展」(9月～(予定))</li> <li>●旧吉岡家住宅 春の公開 (5.26～28) 10:00～16:00</li> <li>●その他各種講座を随時開催</li> <li>●旧日立航空機株式会社変電所一般公開（毎週水・日曜日）10:30～16:00 【URL】 <a href="https://www.city.higashiyamato.lg.jp/bunkasports/museum/index.html">https://www.city.higashiyamato.lg.jp/bunkasports/museum/index.html</a></li> </ul>						

17	<b>東村山ふるさと歴史館</b> 「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。					
	開館時間	9:30～17:00 （入館は16:30まで） ※八国山たいけんの里も同	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館） ※八国山たいけんの里も同	入館料	無料 ※八国山たいけんの里も同
<ul style="list-style-type: none"> <li>●年中行事展「端午の節供」(4.29～6.18) 東村山ふるさと歴史館では例年、ロビーにて端午の節供の小規模な展示を行っています。令和5年度は規模を拡大して、特別展示室にて行います。当館の前身である東村山市郷土館時代から収集されてきた「こいのぼり」や「五月人形」等、たくさんの端午の節供の資料を展示します。</li> <li>●夏休み対応展示「自由研究のたね」(7.22～8.27) 夏休みの自由研究に取り組む子どもたちに向けて、東村山の史跡や自然に関する事、郷土の歴史に係ることなど、歴史館ならではの研究のヒントとなるような展示を行います。</li> <li>●資料整理のため臨時休館 (9.6～9.8) ※八国山たいけんの里は、この期間も開館しております。 ◆東村山ふるさと歴史館 【URL】 <a href="https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/">https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/</a> ◆八国山たいけんの里 東村山市野口町 3-48-1 【URL】 <a href="https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/">https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/</a></li> </ul>						

18	<b>国立ハンセン病資料館</b>					
	ハンセン病問題に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。					
開館時間	9:30～16:30 (入館は16:00まで)	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、 年末年始、館内整理日	入館料	無料	☎ 042-396-2909
<p>●企画展「ハンセン病文学の新生面 『いのちの芽』の詩人たち」(2.4～5.7)</p> <p>大江満雄編『いのちの芽』(三一書房、1953年)は、全国8つのハンセン病療養所から73人が参加する、初めての合同詩集でした。今年は詩集刊行から70年目にあたります。隔離政策の不条理に直面しながらも外部社会に向けて希望・連帯・再生を希求する戦後の新たな文学の姿を、本展では「ハンセン病文学の新生面」として紹介します。関連イベントとして、担当学芸員によるギャラリートーク、朗読会を開催します。いずれのイベントも詳細は当館ホームページをご覧ください。</p> <p>●企画展「らい予防法闘争展(仮)」(8.13～11.12)</p> <p>全国国立癩療養所患者協議会(現在の国立ハンセン病療養所入所者協議会)は、1952(昭和27)年～1953(昭和28)年に「らい予防法闘争」を展開しました。自分達の望む法律の改正を求め、全国の療養所の入所者が立ち上がりました。文書・新聞・写真資料からこの闘争を振り返り、「らい予防法闘争」を取り巻く当時の社会についても考えます。関連イベントとして、担当学芸員によるギャラリートーク、フィールドワーク、講演会を予定。詳細は決まり次第当館ホームページに掲載します。</p>						
【URL】 <a href="http://www.nhdm.jp/">http://www.nhdm.jp/</a>						

19	<b>くにたち郷土文化館</b> 国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。					
	開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2・4木曜日(祝日の場合は翌日)、 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●季節の飾り付け「こいのぼり・五月人形飾り」(4.22～5.7)</p> <p>くにたち郷土文化館と国立市古民家に、こいのぼりと五月人形を飾りつけます。</p> <p>●共催企画展「第9回くにたち陶芸展」(5.20～6.18) 共催：陶芸展実行委員会</p> <p>くにたち郷土文化館で活動する陶芸サークルが、日々の創作活動の成果を発表します。様々な陶芸の魅力をお楽しみください。</p>						
【URL】 <a href="https://www.kuzaidan.or.jp/province/">https://www.kuzaidan.or.jp/province/</a>						

20	<b>たましん歴史・美術館</b> 多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。					
	開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日、年末年始(12.28～1.4)	入館料	100円 ※中学生以下無料
<p>●「工芸×絵画—たましん蔵出しコレクション展—」(4.1～7.16)</p> <p>多摩信用金庫の所蔵する美術品の中から、近代漆工の名匠である磯矢阿伎良、黒田辰秋を中心とした工芸作品と、多摩地域を活動拠点として活躍した画家たちの絵画作品を組み合わせで紹介いたします。</p> <p>●「たましんコレクション展(仮)」(7.29～11.12)</p>						
【URL】 <a href="https://www.tamashinmuseum.org/">https://www.tamashinmuseum.org/</a>						

21	<b>パルテノン多摩</b>					
	地域まるごと博物館のコアとして多摩市と多摩ニュータウンを自然と歴史の視点で紐解く。					
開館時間	10:00～17:30	休館日	館の休館日に準ずる(月2,3日と年末年始)	入館料	常設展は無料	☎ 042-375-1414
<p>●特別展「牧野富太郎と多摩(仮)」(5.4～5.29)</p> <p>NHKの朝ドラ「らんまん」のモデルにもなった日本を代表する植物学者、牧野富太郎と多摩地域との関わりについて、植物採集や、植物学の層を厚くすることに貢献した植物同好会など、多角的に紹介します。</p> <p>●企画展「村絵図に見る多摩市と多摩ニュータウン(仮)」(6.1～11月(予定))</p> <p>多摩市に残された村絵図などをもとに、多摩ニュータウン開発前の村の様子や地形の変化を探ります。</p> <p>●市民学芸員企画「街角アート鑑賞ツアー@TAMA」(唐木田・多摩センターコース)(5.28)</p> <p>パルテノン多摩ミュージアムでは、市民学芸員とともに街の様々な謎を再発見する活動をおこなっています。今回は、市民学芸員の調査結果をもとに、唐木田から鶴牧エリアの公園を巡り、パルテノン多摩に至る約7kmのコースを歩きながら、点在するアートを鑑賞します。</p> <p>※事業の詳細はパルテノン多摩HPをご覧ください。</p>						
【URL】 <a href="https://www.parthenon.or.jp/">https://www.parthenon.or.jp/</a> 【Twitter】 <a href="http://twitter.com/par_tama_museum">http://twitter.com/par_tama_museum</a> 【Facebook】 <a href="https://www.facebook.com/25thparthenon">https://www.facebook.com/25thparthenon</a>						

22	<b>東京都立埋蔵文化財調査センター</b> 多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。							
	開館時間	9:30～17:00 (11～2月は遺跡庭園のみ16:30まで)	休館日	年末年始 (12.29～1.3) 臨時休館 (10.27・11.27・2.5) 展示替え (3.8～3.19)	入館料	無料	☎	042-373-5296
<p>●企画展示「多摩新街遺跡切抜帖—新聞にのった遺跡たち—」(3.21～3.7)</p> <p>●年中行事 企画展示解説 (4.15/6.3/8.5) 遺跡庭園自然解説会① (5.20)、勾玉・耳飾り作り① (5.25)、あんぎん作り① (5.25)、映像上映会① (6.3)、縄文の糸作り① (6.17)、文化財講演会(企画展示関連①・②) (7.8/9.16)、トンボ玉作り①・② (7.12/9.21)、親子土器作り (7/22)、縄文レリーフ作り (7.27)、親子あんぎん①・② (8.1/8.11)、親子勾玉作り①・② (8.1/8.17)、縄文土器観察会 (8.5)、ムクロジでシャボン玉作り (8.17)、夏休みお子様考古学教室①・② (8.22/8.23)、碇打ちで糸作り (8.29)、縄文土器作り (9.2～9.3)、学芸員ギャラリートーク大昔の多摩を語る① (9.16)</p> <p>※申込方法、締切など詳細はホームページをご覧ください。 【URL】 <a href="https://www.tomaibun.jp">https://www.tomaibun.jp</a> 【Twitter】 <a href="https://twitter.com/tokyo_maibun">https://twitter.com/tokyo_maibun</a></p>								

23	<b>町田市立自由民権資料館</b> 多摩地域・武相地域の自由民権運動と町田の歴史を紹介。							
	開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 (12.28～1.4)	入館料	無料	☎	042-734-4508
<p>●特別展「町田のおカイコさん」(7.22～9.3) 町田市域では古くから養蚕・製糸が行われていました。特に盛んになったのは横浜が開港した幕末から昭和のはじめ頃までの時期で、繭作り・糸作りの最盛期となりました。本展では町田市域を中心に、養蚕の歴史のほか、養蚕・製糸業に関わる人びとの生活や信仰などについて紹介します。三輪の森ビジターセンター内郷土資料展示室(町田市三輪町740)でもミニ展示を同時開催します。</p> <p>【URL】 <a href="https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul03/index.html">https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul03/index.html</a> 【Twitter】 <a href="https://twitter.com/machida_minken">https://twitter.com/machida_minken</a></p>								

24	<b>町田市民文学館ことばらんど</b> 「文学」「ことば」「文字」の魅力や楽しさを展覧会や講演会を通して紹介							
	開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館)、毎月第2木曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館)、年末年始 (12.29～1.4)	入館料	無料(秋の企画展は有料)	☎	042-739-3420
<p>●春の企画展「今日マチ子 わたしの #stayhome 日記 2020-2023 展—エッセンシャルなものとはなにか?—」(2023.4.22～6.25) 漫画家・今日マチ子が表現者として発信し続けた個人的な記録を通じて、2020～2023年に世界的に蔓延した感染症下の「日常」に思いを馳せ、私たちの「これまで」と「これから」を、そして「変わるもの」「変わらないもの」について想いを巡らせてます。</p> <p>●夏の企画展「(仮)シゲリカツヒコ展」(2023.7.22～9.24) 「体験・体感」「ユーモア」をテーマに、シゲリ氏の躍動感あふれる絵本の世界を再現し、作品の魅力を紹介します。</p> <p>【URL】 <a href="https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html">https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html</a> 【Twitter】 <a href="https://twitter.com/machida_kotoba">https://twitter.com/machida_kotoba</a></p>								

25	<b>府中市郷土の森博物館</b> 府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。 ※本館は令和5年9月4日から10か月程度閉鎖							
	開館時間	9:00～17:00 (入場は16:00まで)	休館日	月曜日(5.1、7.17、8.14、9.18・25は開館)、5.9、7.18、9.5～8	入館料	大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料 ※プラネタリウムは別途観覧料が必要	☎	042-368-7921
<p>●企画展「府中の旧家にあった書画たち」(4.15～5.21) 旧家が所有していた狩野派絵師や文人、政治家などによる作品を紹介。</p> <p>●企画展「田村智久写真展 花の森八景 Lumiere-ヒカリトトモニ」(6.3～8.27) 園内の植物に魅せられた故・田村智久氏の写真展。</p> <p>●特別展「どんなもんだい? 縄文時代」(7.15～8.27) 縄文時代の調査・研究成果を子ども向けに楽しく紹介。</p> <p>●企画展「府中宿の本店と行在所」(7.22～3.17) 明治天皇の休憩所・宿所にもなった府中宿の商家「旧田中家住宅」を紹介。</p> <p>●プラネタリウム春番組(～5.26) オリジナル生解説番組「星空ヒストリア～世界の星座～」ほか。</p> <p>●プラネタリウム夏番組(5.27～9.3) 夏の星座「さそり座」をさまざまな角度から親しみやすく紹介するオリジナル生解説番組「さそり座スペシャル!」ほか。</p> <p>●あじさいまつり(5.27～7.2) 園内に咲き誇るあじさいと古民家のコラボレーションをお楽しみください。</p> <p>●曼珠沙華まつり(9.9～10.1) 秋の訪れとともに一面に咲き誇る曼珠沙華をお楽しみください。</p> <p>※改修工事にとまない、本館(展示室・プラネタリウム等)は令和5年9月4日から10か月ほど閉鎖します。園内はご利用いただけます。</p> <p>【URL】 <a href="http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html">http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</a> 【Twitter】 <a href="https://twitter.com/kyodo_no_mori">https://twitter.com/kyodo_no_mori</a></p>								



26	<b>小平市鈴木遺跡資料館</b>					
	日本を代表する旧石器時代遺跡である国史跡「鈴木遺跡」から出土した貴重な旧石器を展示・公開しています。					
開館時間	10:00～16:00	休館日	月・火・木・金曜日、年末年始（12.27～1.5）	入館料	無料	☎ 042-323-2233
<p>●常設展示</p> <p>国史跡「鈴木遺跡」は、都内最大規模の旧石器時代遺跡です。出土した旧石器を分析した結果、日本の後期旧石器時代初めから終末まで12の文化層の石器群が存在することが判明し、約2万2千年間にも及ぶ日本旧石器時代の移り変わりを明らかにしたことで名高い遺跡です。常設展示では、各時期ごとの石器群を古い方から年代順に並べて展示しています。また、数多く出土した黒曜石も時期と産地ごとに一目でわかるようまとめて展示しています。</p> <p>【URL】 <a href="https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/001/001374.html">https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/001/001374.html</a></p>						

27	<b>小金井市文化財センター</b> 小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。					
	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、臨時休館期間（3.20～3.24、10月下旬）、年末年始（12.29～1.3）	入館料	無料	☎ 042-383-1198
<p>●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。</p> <p>●季節展「名勝小金井桜」（2023.3.25～2023.5.31） 桜の花期に合わせた企画展。玉川上水堤の桜並木「名勝小金井（サクラ）」の歴史を錦絵や古写真で紹介</p> <p>●地域史講座（年3回：夏季以降、募集は市報にて）</p> <p>●ほか、武蔵小金井まちかど歴史ミュージアム（小金井市本町6-2-30）を実施中</p> <p>【URL】 <a href="https://www.city.koganei.lg.jp/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html">https://www.city.koganei.lg.jp/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html</a></p>						

28	<b>江戸東京たてもの園</b>					
	都内の歴史的建造物を移築、復元・保存・展示し、文化遺産として次代に継承することを目指した野外博物館。					
開園時間	4～9月：9:30～17:30 10～3月：9:30～16:30 (入園は閉園の30分前まで)	休園日	月曜日（祝日の場合は翌平日） ※2023.4.3・5.1は臨時開園 年末年始（12.25～1.1）	入園料	大人400円、中（都外）高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中（都内）無料	☎ 042-388-3300
<p>●展示室（特別展）</p> <p>「日本のタイル100年—美と用のあゆみ」（3.11～8.20） 「江戸東京博物館コレクション展—江戸東京のまちづくり」（9.16～12.17）</p> <p>●春夏の催し</p> <p>「こどもの日イベント」（5.4・5） 「ちょっと涼しいたてもの園」（7月下旬～9月上旬） 「夜間特別開園下町夕涼み」（8.5・6） 「綱島家年中行事」梅漬け・土用干し（5月下旬～8月土用の頃） 「綱島家年中行事」盆棚の展示（6月下旬～8.15） 「綱島家年中行事」十五夜飾り（9.26～10.1）</p> <p>●定例の催し</p> <p>ミュージアムトーク（4.22、5.27、6.24、7.22、8.26、9.23） 伝統工芸の実演（4.8・9 墨田区、5.13・14 荒川区、6.10・11 練馬区、7.8・9 豊島区、8.12・13、江戸川区、9.9・10 品川区）</p> <p>※ご来園の際は、ホームページ等で最新の情報をご確認ください。</p> <p>【URL】 <a href="https://www.tatemonoen.jp/">https://www.tatemonoen.jp/</a></p>						

29	<b>東京農工大学科学博物館</b>					
	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。					
開館時間	10:00～17:00（入館は16:00まで）	休館日	日・月曜日、祝日、5.31（創立記念日）、年末年始等（12.27～1.3）	入館料	無料	☎ 042-388-7163
<p>●企画展「立体で診る～動物医療と先端技術～」(11.11～5.30)</p> <p>最新の3D技術で動物たちの医療はどのように変わったのだろうか？本企画展では実際の診断画像や標本を通して、3次元技術がもたらした様々な獣医学の発展や東京農工大学での取り組みをご紹介します。</p> <p>※都合により休館日が変更される可能性があります。詳細はHP、Twitterでご確認ください。</p> <p>●「国際博物館の日記念イベント」（5.28）</p> <p>カイコの生体展示と学生によるイベントを実施します。当日は、小金井キャンパス内にて東京農工大学の学園祭も開催されております。</p> <p>【URL】 <a href="http://www.tuat-museum.org/">http://www.tuat-museum.org/</a></p>						

<b>30</b>	<b>清瀬市郷土博物館</b> 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、12.29～1.3 ※7月～10月は改修工事のため、展示室休室。窓口業務のみ開館。	入館料	無料	☎ 042-493-8585
<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別展「罅の誘 遥な閃 林亮太色鉛筆画作品展」(5.20～6.11)</li> <li>●特別展関連イベント 記念講演会(6.3)</li> <li>●企画展「はたおり伝承の会作品展」(6.24～7.2)</li> <li>●企画展関連イベント コースター織り体験(6.24～7.2)</li> <li>●テーマ展示「武蔵野線開業50周年」(4.1～6.30)</li> <li>●テーマ展示関連イベント 関連講座(6.10) 多摩六都科学館共催イベント(6.17)「ブルートレインひとり旅」上映(6.24・25)</li> <li>●ミニ展示 端午の節供(4月中旬～5月下旬)</li> <li>●事業 自然観察会(4.16) くさばなDEビンゴ(4.16) ミュージアムシアター(4.20/5.25/6.8) 文化財散歩(6.4) 歴史講座(8.26) 夏休みミュージアム体験(7月下旬～8月中旬予定)</li> <li>●先人の知恵に学ぶシリーズ うどん作り(4.13/9.3) 柏餅作り教室(5.11) 初夏の染物教室(6.2) 体験はたおり(8月予定)</li> </ul> ※詳細は清瀬市郷土博物館ホームページへ。 【URL】 <a href="http://www.museum-kiyose.jp/">http://www.museum-kiyose.jp/</a>						

<b>31</b>	<b>多摩六都科学館</b> 世界最大級のプラネタリウムドームと5つの展示室がある参加体験型の科学館。					
開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始(12.28～1.3)、その他機器整備の休館あり(4.11～13、5.9～11、9.5～7)	入館料	大人520円、小人(4歳～高校生)210円 ※年間パスあり ※プラネタリウム、大型映像は別料金	☎ 042-469-6100
<ul style="list-style-type: none"> <li>●春の特別企画展「昆虫細密画の世界—中西章作品展—」(3.25～5.7) 体の細部のつくりまで徹底した観察に基づいた昆虫細密画。昆虫たちの表情や生態を細かに捉え臨場感あふれる姿を描いた、サイエンスイラストレーター・中西章氏の作品をお楽しみください。</li> <li>●夏の特別企画展「魚の口 ～食べるは生きる～」(7.22～9.3) 魚は生き物の中で初めて顎を持った生き物といわれています。生体や標本を通して、食べるために進化した個性豊かな魚たちの色々な口を見比べてみましょう！</li> <li>●生解説プラネタリウム「南極で見る星空」(4.18～7.2)</li> <li>●大人向けプラネタリウム「ノチウアイヌ民族の星座をたずねて— [2023 夏]」(6.25、28)</li> </ul> 【URL】 <a href="https://www.tamarokuto.or.jp">https://www.tamarokuto.or.jp</a>						

<b>32</b>	<b>調布市郷土博物館</b> 原始古代から現代までの調布の歴史をたどる。					
開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日)、12.29～1.3、館内燻蒸期間	入館料	無料	☎ 042-481-7656
<ul style="list-style-type: none"> <li>●郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」(1.11～5.7) わかりやすい解説で小学生の学習にも役立つよう、昔の暮らしの道具を紹介します。</li> <li>●企画展「中川平一作品展 風景画でたどる調布のいまむかし(仮)」(7.2～9.18) 1960年代から現在まで約60年にわたる調布の風景の移り変わりを、市内在住の画家・中川平一氏によるペン画・水彩画の作品と、郷土博物館所蔵の広報写真などとあわせて紹介します。</li> </ul> ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来館時の手指の消毒及び入館票の記載にご協力をお願いいたします。最新の入館条件等については、ホームページ・ツイッターでお知らせいたします。 【URL】 <a href="https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html">https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html</a> 【Twitter】 <a href="https://twitter.com/chofu_museum">https://twitter.com/chofu_museum</a>						

<b>33</b>	<b>国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館</b> 初代学長・湯浅八郎の民芸コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。					
開館時間	13:00～17:00(祝日を除く4/11～7/7の毎週火曜・水曜・木曜・金曜の限定開館)	休館日	4/11～7/7の毎週火曜・水曜・木曜・金曜以外(5/3～5/5は祝日のため休館)	入館料	無料	☎ 0422-33-3340
<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別展「開館40周年記念 湯浅八郎・民芸の心」(4.11～7.7) 国際基督教大学(ICU)設立に尽力した初代学長湯浅八郎(1890-1981)は、柳宗悦の民芸運動に共鳴し素朴な手仕事の品を収集しました。開館40周年を記念しその旧蔵品の数々を紹介します。祝日を除く、毎週火曜/水曜/木曜/金曜日13:00～17:00の限定開館(要予約)。</li> <li>●ランチタイムトーク「私とICU」(5.8) 本学教授陣をゲストスピーカーに迎え、往時の思い出を聞く第六弾。Zoomミーティングにて開催。</li> <li>●第118回公開講座「湯浅八郎と民芸」(5.20) 湯浅八郎講義録『民芸の心 [新装和英版]』の英訳を手掛けたM. W. スティール氏(ICU名誉教授)と、開設準備室からの当館の40年にわたる歩みを知る原礼子氏(元当館学芸員)が、民芸に込められた湯浅八郎の思いを語ります。Zoom ウェビナーにて開催(視聴無料・要予約)。</li> </ul> 【URL】 <a href="https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/">https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/</a> 【Twitter】 <a href="https://twitter.com/ICU_museum">https://twitter.com/ICU_museum</a> 【YouTube】 <a href="https://www.youtube.com/channel/UCg4-jOCyCengzMGkfHbKdJg/">https://www.youtube.com/channel/UCg4-jOCyCengzMGkfHbKdJg/</a> 【Instagram】 <a href="https://instagram.com/icu_yuasa_museum/">https://instagram.com/icu_yuasa_museum/</a>						

34	<b>武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館</b>					
	武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。					
開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜日、祝日、年末年始	入館料	無料	☎ 0422-53-1811
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「写真でたどる吉祥寺－鈴木育男写真展－」(5.13～7.13) 吉祥寺の街の発展と風景の移り変わりを鈴木育男氏の撮影した写真を中心に紹介します。</li> <li>●特集展示「武蔵野市の天然記念物と樹木」(6.25～8.24) 市内所在の天然記念物の樹木を中心に、推定樹齢300年以上のケヤキやその保護についても併せてご紹介いたします。</li> <li>●企画展「戦争と武蔵野区」(7.29～9.28) 市民からの寄贈資料、米国国立公文書館から収集した資料、当館が所蔵する武蔵野市歴史公文書等を用いて市域における戦争の歴史を振り返ります。</li> <li>●特集展示「武蔵野市の文化財悉皆調査と櫻井家の年中行事」(9.9～11.9) 昭和59年より開始した文化財悉皆調査と、平成16年度に実施した櫻井家の年中行事調査を紹介します。</li> </ul> <p>【URL】<a href="http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/">http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/</a></p>						

35	<b>日本獣医生命科学大学付属博物館</b>					
	本学の歴史に関する資料や、日本の里山で暮らす野生動物に関する資料を展示。					
開館時間	10:30～17:00 (入館・物販は16:30まで)	休館日	日・月曜日、祝日、年末年始、大学の定める休日 (告知ない変更・臨時休館あり)	入館料	無料	☎ 0422-31-4151
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示 歴史系展示室では大学史の紹介を、自然系展示室では野生動物の剥製や骨格標本の展示を行っています。</li> <li>●企画展示「2022年度企画展 獣医学教育用掛図展～獣医解剖学の系譜と本学の教育～」(～5.31(予定)) 当館が所蔵する「日獣大獣医学教育用掛図コレクション」の中から、修復が完了した5点の掛図を展示し、掛図の歴史やコレクションの概要、当館が行った掛図の調査・修復事業について解説しています。</li> <li>●ミニ展示 博物館の活動や収蔵資料などのテーマに応じたミニ展示を実施しています。</li> </ul> <p>※2023年4月1日に「日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム」から「日本獣医生命科学大学附属博物館」へと名称を変更しました。          ※見学には事前のご予約が必要です、詳細は大学公式サイト博物館ページをご覧ください          ※開館日程は事前の告知なく変更になる場合があります</p> <p>【URL】<a href="https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004.html/">https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004.html/</a> (大学公式サイト内博物館ページ)</p>						

36	<b>狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園)</b>					
	文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。					
開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日 (休日にあたるときはその翌開園日)、年末年始 (12.28～1.4)	入館料	無料	☎ 03-3489-8981
<ul style="list-style-type: none"> <li>●年中行事展示 端午の節句、七夕飾り、盆棚飾りなど、節句などに合わせて展示を予定しています。</li> <li>●イベント・教室 地域の生活文化や伝統文化を体験する教室などを予定しています。子ども向けの体験教室もあります。</li> </ul> <p>※詳細は、狛江市広報または狛江市教育委員会ホームページをご覧ください。</p> <p>【URL】<a href="http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12.html">http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12.html</a> 【Twitter】@komae_muikara</p>						

# 三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	青梅市郷土博物館	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分
4	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
5	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口から徒歩 20 分 ② JR 青梅線「羽村駅」東口からコミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
6	コニカミノルタ サイエンスドーム (八王子市子ども科学館)	JR 中央線「八王子駅」、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
7	桑都日本遺産センター 八王子博物館	① JR 中央線「八王子駅」南口から駅直結 ② 京王線「京王八王子駅」から徒歩 8 分
8	福生市郷土資料室	福生市役所、旧ヤマジウ田村家住宅ともに JR 青梅線「福生駅」西口から徒歩約 7 分
9	瑞穂町郷土資料館（けやき館）	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
10	武蔵村山市立歴史民俗資料館・分館	多摩モノレール「上台北駅」から武蔵村山市内循環バス「かたくりの湯」下車徒歩 1 分 分館：西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から武蔵村山市内循環バス「大南三丁目」下車徒歩 3 分
11	立川市歴史民俗資料館	① JR 中央線「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分 ② JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分 ③ JR 青梅線「西立川駅」下車徒歩 20 分
12	日野市郷土資料館	① 多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ② 多摩モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
13	日野市立新選組のふるさと歴史館	① JR 中央線「日野駅」から京王バス高幡不動駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分 ② 京王線・多摩都市モノレール「高幡不動駅」から京王バス日野駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分
14	東京都立大学 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
15	帝京大学総合博物館	① 多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩 15 分 ② 京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」、「高幡不動駅」、「多摩センター駅」から京王バス「帝京大学構内」行きに乗車し終点にて下車
16	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行きで「八幡神社前」下車徒歩 2 分
17	東村山ふるさと歴史館	西武新宿・国分寺・西武園線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分
18	国立ハンセン病資料館	① 西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ② 西武新宿線「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分（いずれも「ハンセン病資料館」で下車）
19	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 10 分、JR 中央線「国立」駅からバス「国立操車場」行または「国立泉団地」行、「くにたち郷土文化館」下車すぐ
20	たましん歴史・美術館	たましん歴史・美術館：JR 中央線「国立駅」南口前/たましん美術館：JR 中央線「立川駅」北口より徒歩約 6 分
21	パルテノン多摩	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
22	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5～7 分
23	町田市立自由民権資料館	① 小田急線「鶴川駅」5 番バス乗り場から「野津田車庫」行きまたは本町田経由「町田駅」行きで「綾部入口」下車 ② 小田急線・JR 横浜線「町田駅」21 番バス乗り場から本町田経由「野津田車庫」行きまたは「鶴川駅」行きで「袋橋」下車
24	町田市民文学館ことばらんど	① 小田急線「町田駅」東口から徒歩 12 分 ② JR 横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩 8 分
25	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 南武線「分倍原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小平市鈴木遺跡資料館	① 西武新宿線「小平駅」南口から西武バス武蔵小金井駅行き、もしくは JR 中央線「武蔵小金井駅」から西武バス小平駅南口行き「回田本通り」下車徒歩 5 分 ② 西武新宿線「花小金井駅」から立川バス「国分寺駅北口」行き「共済住宅」下車徒歩 10 分
27	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車徒歩 5 分
28	江戸東京たてもの園	① JR 中央線「武蔵小金井駅」北口バス 2 番 3 番停留所からバス「小金井公園西口」下車徒歩 5 分 ② 西武新宿線「花小金井駅」南口より徒歩 5 分「南花小金井」（小金井街道沿い）停留所から「武蔵小金井駅」行きバス、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
29	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」nonowa 口から徒歩 7 分
30	清瀬市郷土博物館	① 西武池袋線「清瀬駅」北口から徒歩 10 分 ② 西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
31	多摩六都科学館	① 西武新宿線「花小金井駅」北口から徒歩 18 分 ② 西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」からはなバス第 4 北ルート「多摩六都科学館」下車すぐ
32	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
33	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	① JR 中央線「三鷹駅」南口または「武蔵境駅」南口から小田急バス「国際基督教大学」行きにて終点下車 ② 武蔵境駅からタクシーで 10 分
34	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	① JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」から徒歩 12 分 ② JR 中央線「武蔵境駅」北口からムーバス境西循環に乗車し、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
35	日本獣医生命科学大学付属博物館	JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口から徒歩 2 分
36	狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園）	① 小田急線「狛江駅」、「和泉多摩川駅」から徒歩 10 分 ② 小田急線「狛江駅」北口から「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」（北回り）で「児童公園」バス停前